

大阪母子医療センター 倫理委員会小委員会議事録

とき 2021 年 1 月 18 日（月）午後 4 時から
ところ WEBEX で開催
出席者 光田委員長、石井委員、臼井委員、望月委員、道上委員
事務局（植田、清水）
欠席者 福寿委員、山本委員、竹内委員、平野委員

【新規申請】 審議

番号	1406
課題名	肺静脈狭窄に対するステント留置術
申請者	橋本 和久（小児循環器科レジデント）、青木 寿明（小児循環器科副部長）
審議内容	当センターでの治療成績を具体的な例数を入れて説明文書に記載すること。また費用の説明については不要な部分は削除し「患者さんに費用が請求されることはありません。」とすること。
審議結果	指摘事項確認後、承認

大阪母子医療センター 倫理委員会小委員会（臨時）議事録

とき 2021年1月 25日（月）午前8時45分から

ところ WEBEXにて開催

出席者 光田委員長、臼井委員、福寿委員、石井委員、平野委員、望月委員、竹内委員
道上委員 事務局（植田、清水）

欠席者 山本委員

【新規申請】審議

番号	1410
課題名	一絨毛膜一羊膜双胎一児死亡の臍帯相互巻絡に対する胎児鏡下臍帯切断術
申請者	和形 麻衣子（産科診療主任）
審議内容	生存児の臍帯にレーザーがあたらないように注意が必要である。臍帯を切断することでテンションがかかって絞扼している状態を解除できる。
審議結果	承認

大阪母子医療センター 倫理委員会小委員会（臨時）議事録

とき 2021 年 1 月 28 日（木） 午前 8 時 45 分から
 ところ オンライン開催
 出席者 光田委員長、臼井委員、平野委員、福寿委員、石井委員、竹内委員、望月委員、道上委員
 事務局（植田、清水）
 欠席者 山本委員

【新規申請】 審議

番号	1412
課題名	当院入院中の児における他院でのがん遺伝子パネル検査
申請者	後藤 公寿（血液・腫瘍科レジデント）
審議内容	当センターに入院したままでがん遺伝子パネル検査を他院に依頼することになり、検査費用は当院の持ち出しとなることについては医事 G の内諾は得られている。倫理委員会としては当センターが医療費を負担して検査実施することは倫理的観点、学術的観点から妥当であると判断するが最終的には総長の判断に委ねるという結論とする。
審議結果	総長への意見具申（医療行為実施可）

番号	1413
課題名	胎児尿管瘤による下部尿路閉塞に対する膀胱鏡下の瘤切開術
申請者	山本 亮（産科副部長）
審議内容	シャントも選択肢の一つであるが閉塞や移動の心配があるのでレーザー切開のほうがメリットがある。技術的にも問題なく実施できる治療であるが尿量やほかの部位の閉塞の問題、週数が進んでいることなどを考慮すると胎児治療を行わず妊娠継続していくことも一つの選択である。シャントも含め治療の選択肢があることは説明が必要である。
審議結果	承認